四 国 歯 学 会
第 65 回例会
プ ロ グ ラ ム

日時：2025 年 3 月 20 日（祝・木）14:00 より

講演会場：徳島大学歯学部講堂（3 階）

＋リアルタイム配信（Zoom）

ポスター会場：セミナー室（3 階）

四国歯学会

※ 日本歯科医師会生涯研修事業の単位に認定されております。
四国歯学会員で自宅等でのリアルタイム配信を視聴される方は、3/18（火）までに四国歯学会 HP 上の登録フォームからご登録下さい。3/19（水）頃参加用 URL、ミーティング ID やパスコードをご連絡させていただきます。生涯研修の単位を希望される方は、登録フォームに氏名と6桁の IC カード番号を必ず記載して下さい。（現地で視聴される方は IC カードリーダーを設置しております。）
尚、ZOOM 参加にて生涯研修単位登録をご希望の先生は、当日例会終了後に、ZOOM 画面に表示されますアンケートにご回答頂くよう、よろしくお願いいたします。アンケート回答と視聴ログ確認をもって、研修単位の手続きを行います。

※ 大学院先端口腔科学特論の時間数に含まれます。履修手帳をご持参下さい。

連絡先

四国歯学会学術担当
徳島大学大学院医歯薬学研究部 小児歯科学分野
岩﨑 智憲，赤澤 友基，蔵本 瞳
TEL 088（633）7359
E－mail： akazawa.yuki@tokushima-u.ac.jp

ポスター閲覧・討論

12:30 － 16:00　　ポスター展示
13:00 － 13:50　　ポスター討論（優秀発表賞選考：P1, 2, 3, 4, 5, 6）

ポスター演題

P-1 口腔扁平苔癬及び扁平苔癬様病変の免疫組織化学的検討
○安倍遥乃[1]、松澤鎮史[2]、永尾瑠佳[2]、大塚邦紘[2]、常松貴明[2]
1 徳島市立高校 2 年
2 徳島大学大学院医歯薬学研究部　口腔分子病態学分野

P-2 三叉神経障害性疼痛の基礎メカニズムならびにクルクミンの効果
○河野地里子[1]、○真田葦[1]、Dara Sari Arini[2]、Lutfi Putra Perdana[2]、
Jaime Moreno Fabillar Jr.[2]、松香芳三[2]
1 徳島市立高校 2 年
2 徳島大学大学院医歯薬学研究部 顎機能咬合再建学分野

P-3 サークル・バイブレーション法による歯垢除去効果検証のための予備的実験
○山路梨紗[1]、藤田真里杏[1]、小松崎凛[1]、松本望愛[1]、吉田沙紀[1]、政ケ谷恒暉[2]、
三木かなめ[3]、須磨紫乃[3]、片岡宏介[3]
1 徳島大学歯学部歯学科 4 年
2 徳島大学歯学部歯学科 2 年
3 徳島大学大学院医歯薬学研究部 予防歯学分野

P-4 唾液腺導管結紮モデルマウスの組織修復過程の検討
○杉本龍星[1]、藤田真里杏[1]、加納史也[2]、橋本登[2]、山本朗仁[2]
1 徳島大学歯学部歯学科 4 年
2 徳島大学大学院医歯薬学研究部 組織再生制御学

P-5 OSA 発症予防に向けた上顎骨前方牽引治療の意義 ―流体力学的研究―
○藤居朋花[1]、廣澤姫菜[1]、近藤克行[1]、林航平[1]、岩崎智憲[2]
1 徳島大学歯学部歯学科 4 年
2 徳島大学大学院医歯薬学研究部 小児歯科学分野

P-6 The potential electro-chemical reaction through the electric current application to Ti-Cu plates bonded using resin-modified glass ionomer cement
○渥美孝祐ハディ[1]、武川（宇山）恵美[2]、関根 一光[2]、濵田賢一[2]
1 徳島大学歯学部歯学科 3 年
2 徳島大学大学院医歯薬学研究部　生体材料学分野

P-7 Candidalysin regulates the expression of Inflammation-associated Factors in THP-1-differentiated Macrophages
○Resi Manua Yassa[1]、Yasufumi Nishikawa[2]、Yoritoki Tomotake[2]、
Yuta Uemura[1]、Hiromichi Yumoto[1]
1 Departmemnt of Periodontology and Endodontology, Tokushima University Graduate School of Biomedical Sciences
2 Oral Implant Center, Tokushima University Hospital

P-8　The impact of exposure dose on the contrast of imaging plate in intraoral radiography

○Niluh Ringga Woroprobosari[1]、Hideki Suito[2]、Keiko Fujimoto[1]、
Eiichi Honda[2]、Tetsuo Ichikawa[1]、Kan Nagao[1]
1 Departmemnt of Prosthodontics and Oral Rehabilitation, Graduate School of Oral Science, Tokushima University
2 Departmemnt of Oral and Maxillofacial Radiology, Tokushima University

四国歯学会第 65 回例会

14:00　開会の辞　馬場　麻人　会長

基礎研究紹介講演

座長　馬場　麻人

14:05 ～ 14:35　「メダカ咽頭歯の構造と scpp (分泌カルシウム結合リンタンパク質) の発現変化」

(質疑応答含む)　徳島大学大学院医歯薬学研究部　口腔顎顔面形態学分野
守田　剛

臨床指導講演

座長　田中　栄二

14:40 ～ 15:00　「デジタル技術が変える歯科治療
(質疑応答含む)　―基本概念と臨床応用―」
徳島大学大学院医歯薬学研究部 矯正歯科学分野
渡邉　佳一郎

座長　湯本　浩通

15:05 ～ 15:25　「喫煙と歯周組織再生療法」
(質疑応答含む)　徳島大学大学院医歯薬学研究部 歯内歯周治療学分野
植村　勇太

15:30 ～ 15:35　表彰式　馬場　麻人　会長

15:40　閉会の辞　湯本　浩通　副会長

注意事項

●ポスター発表について

・ポスターの大きさ　横 90cm×縦 130cm

演題番号（横 20cm×縦 20cm）は大会側で用意（左上端）

演題名・発表者名（発表者の前に〇印を記入）・所属は，演題番号の右側の横 70cm×縦 20cm の範囲に記載

・進行について

12：30－16：00　　ポスター展示

13：00－13：50　　ポスター討論

（発表者はリボンをつけて，ポスターの前に立ってください。

この時間は，閲覧者の質疑応答に答えてください。

●基礎研究紹介講演は　講演時間 20 分, 討論時間 10 分とします。

●臨床指導講演は 講演時間 15 分，討論時間 5 分とします。

●講演，発表方法について

・発表は液晶プロジェクター，単写とします。

・Microsoft 社の Power Point を用いてスライドを作成してください。

・コンピューター（Windows PC と Mac）は発表者が御用意下さい。

・当日 3 月 20 日（木）13：00～14：00 の間に，必ず動作確認を行ってください。

●学生発表者（ポスター発表）の中から，優秀発表賞を選考し表彰します。

●ポスター発表・一般講演者は，発表後 4/4（金）までに 400 字程度の抄録を四国歯学会学術担当の赤澤（akazawa.yuki@tokushima-u.ac.jp)宛てにメールでご送付下さい。